

美術用語を用いて意味的連想検索可能なアーカイブを用いたリーフェンシュタール及び同時代の表象の分析

慶應義塾大学院後期博士課程 吉田悠樹彦

1. 目的

本研究は意味検索可能なアート・アーカイブを用いたレニ・リーフェンシュタール、及び同時代の表象に関する分析(2003年)に続く研究である。

90年代後半から視覚文化論と呼ばれる領域では、「観察者」が分析対象である表象を既存の人文科学の方法論のみならず、映像データベースのような次世代メディア基盤上で分析を行い、内容分析にはデータサイエンスや人工知能技術を応用するといったことが行われてきた。そのような研究機関の代表的な例がZKM(ドイツ)、V2(オランダ)、The Planetary Collegium(イギリス)である。例えばロイ・アスコット、ジョン・A・ウォーカー、サラ・チャップリンはデータベースを用いた視覚的表象と記号論のコノテーションの研究を予測している。このような領域では、既存の人文学のみならず情報学、認知科学、言語学、記憶論、修辞学といった諸領域を網羅する先端領域が形成されつつある。代表的な研究成果としてはジョナサン・クレイリーの「観察者の系譜」、マーティン・ジェイの「内なる眼」、ダウアー・ドラウシマーの「記憶の比喩」などを上げることが出来る。

これまでリーフェンシュタールの映像は、その表象としての性質からナチスか非ナチスかということが多くの研究者によって指摘されてきた。これらの成果が「観察者」の内の一貫性に基づく形で行われてきたが、近年「全ショットをコンピュータに入れた定性的な分析」(瀬川祐司)が発表され、さらには「映像の作用を正確な分析を通じて相対化する必要性」(平井正)が指摘をされてきた。

2. 方法

2003年度は意味的連想検索可能なデータベース(清木康, 金子昌史, 北川高嗣, “意味の数学モデルによる画像データベース探索方式とその学習機構” 電子情報通信学会論文誌, Vol. j79-D-2 No.4, pp.509-519, April. 1996.)を用いる事で意味的連想検索可能なリーフェンシュタールに関するアート・アーカイブを実装し、その解析結果から内容分析を行った。このデータベースでは意味の数学モデルをロングマン英英辞典の意味空間に適応することで動的なコンテキストに対する意味的連想検索を行うことが可能である。本年度はさらにオクスフォード美術辞典(The Oxford dictionary of art)の中からドイツ表現主義、モダニズム芸術

といった該当する領域の用語を用いた意味空間を付け加えることで1時代の美術用語のモデルを構築することを行った。美術全般を目的としたアーカイブではなく、一時代と一芸術家に関連する情報を収集することを目的としたアーカイブのためである。そしてその検索結果を用いることで内容分析を行った。

まず8冊の一次、二次資料, M・グリーン「真理の山」, モッセ「国民の歴史」, クラカウアー「カルガリからヒトラーへ」, ソンタグ「魅惑的なファシズム」, トフラー「官能の帝国」, 吉田「幻視と映像」, リーフェンシュタール「回想」, ヒトラー「我が闘争」に基づくメタデータ作成した。具体的には映像に対してリーフェンシュタール(ナチス), リーフェンシュタール(スポーツ), 表現主義, ナチアート, ラバン・ヴィグマン, ナチスに傾向しなかった表現舞踊, ヒトラーの7つのカテゴリーを作りそれぞれのカテゴリーに基づく形で映像に対して1:Nの対応でメタデータを与えた。図像に与えたメタデータを経験データ(ジョナサン・クレイリー)とすることで、表象としてのメディア・データに意味を与え、それぞれの映像に対する検索語と検索結果をコノテーションと考えることから検索結果に対して意味的連想検索を用いた内容分析を行った。

3. 結果とその考察

データベースの内部で図像が各々自律的に存在し、各コンテキストによって意味がそれぞれに形作られる。その中から幾つかの傾向を具体的に幾つか取り上げたい。例えば書籍「真理の山」に基づくメタデータに関する箇所ではリーフェンシュタールをナチス的と見る検索語に対して、まずレビューや大衆向けのショーに近い検索結果が現れた。そして次にリーフェンシュタールのナチス的に見える映像が現れてくる。意味的連想検索を用いることで当時の大衆の無意識を反映したといわれるショーやレビューの映像が出てくることは興味深い結果である。一方でリーフェンシュタールを非ナチス的と見るコノテーションではそれを裏付ける結果が出るが、リーフェンシュタールをナチス的だと解釈する映像が少し下の値として表示されるという予想を裏切る結果が現れた。

本研究の延長に当たる舞踊辞典を含む超域的な意味空間を用いたリーフェンシュタールに関する分析はYOSHIDA, Yukihiko, “Leni Riefenstahl and German Expressionism: A Study of Visual Cultural Studies Using Transdisciplinary Semantic Space of Specialized Dictionaries”, Technoetic Arts: a journal of speculative research (Editor Roy Ascott), Volume3, Issue2, 2006 (refereed) という形でイギリスの新しい科学と芸術に関するジャーナルから出版された。